

82001

有害物ばく露作業報告書

日本産業分類の産業中分類業種名を記入すること。(備考4)

労働保険番号	00000000000000000000000000000000	事業場の名称	厚労
事業の種類	000	労働者数	00人
		事業場の所在地	郵便番号 0

同じ製剤名でも用途またはばく露作業の種類が異なる場合は改訂して記入すること。

ばく露作業報告対象物の名称	名称	0000
---------------	----	------

ばく露作業報告対象物を含有する製剤等の名称	用途	製剤等の製造量又は消費量	含有率	ばく露作業報告対象物の量	ばく露作業の種類	ばく露作業に従事労働者数
1. メッキ液	07	24.0t	25%	6.0t	46	8
2. シンナーA	04	12.0t	25%	3.0t	46	8
3. シンナーA	04	8.0t	25%	2.0t	41	4
4. 接着剤B	10	10.0t	10%	1.0t	39	5
5.						
6.						

別表1より該当コードを記入すること。(備考7)

平成18年度1年間の製造量又は消費量を記入すること。また、同一生産工程で2以上の作業が行われる場合の製造量等は、それぞれの作業について該当工程の製造量等を記入すること。(備考8)

小数点以下2桁を四捨五入すること。なお、四捨五入の結果、0.0tとなった場合は、「0.0」と記入すること。(備考10)

別表2の該当コードを選択して記入すること。例えば、スプレーガンによる塗装は46(吹き付け作業)、洗浄は41となる。(備考11)

00年0月0日

事業者職氏名 代表取締役 安衛太郎

00 労働基準監督署長殿

化学物質安全衛生データシート(MSDS)の含有率表示が20~30%の場合、 $(20+30)/2=25$ の計算結果を記入すること。小数点以下1桁を四捨五入すること。なお、四捨五入の結果、0%となった場合は「0」と記入すること。(備考9)

備考(抜粋)

- 「事業の種類」の欄は、日本標準産業分類の中分類により記入すること。
- 「ばく露作業報告対象物の名称」の欄は報告を行うばく露作業報告対象物の名称を、「コード」の欄は労働安全衛生法施行令別表第9の番号を記入すること。
- 「用途」の欄は、「ばく露作業報告対象物を含有する製剤等」の用途について、別表1に掲げる区分に応じて該当コードを記入すること。
- 「製剤等の製造量又は消費量」の欄は、前年度1年間の当該製剤等の製造量又は消費量を記入すること。
- 「含有率」の欄は、ばく露作業報告対象物の含有率を重量パーセントで記入すること。含有率の表記が、10パーセント未満の端数を切り捨てた数値と当該端数を切り上げた数値との範囲を
- 「ばく露作業報告対象物の量」の欄は、「製剤等の製造量又は消費量」と「含有率」から算出した量を記入すること。
- 「ばく露作業の種類」の欄は、「ばく露作業報告対象物を含有する製剤等の名称」の欄に記載した物質を製造し、又は取り扱うことによりばく露するおそれのある作業について、別表2に
- 「ばく露作業従事労働者数」の欄は、当該作業に従事している労働者数を記入すること。
- 「換気設備の設置状況」の欄は、局所排気装置等の設置状況について、次に掲げるもののうち該当するものを記入すること。(1. 局所排気装置の設置 2. プッシュプル型換気装置の設置
- 「ばく露作業報告対象物の性状」の欄は、ばく露作業における当該化学物質の状態について、次に掲げるもののうち該当するものを記入すること。(1. 破碎しないペレット状の固体又は結
- 「ばく露作業報告対象物の温度」の欄は、取り扱い時の温度について、次に掲げるもののうち該当するものを記入すること。(1. 摂氏50度未満 2. 摂氏50度以上100度未満 3. 摂
- 「ばく露作業への従事時間」の欄は、労働者が当該作業に従事していた一人当たりの1月間の平均の時間数について、次に掲げるもののうち該当するものを記入すること。(1. 20時間以
- 「保護具の使用状況」の欄は、保護具の使用状況について、次に掲げるもののうち該当するものを記入すること。(1. 防じんマスク 2. 防毒マスク 3. 保護衣 4. 保護眼鏡 5. 保護手